

審 査 基 準

平成 2 0 年 7 月 1 日作成

法 令 名：道路交通法
根 拠 条 項：第 4 5 条第 1 項
処 分 の 概 要：駐車許可
原権者（委任先）：警察署長
法 令 の 定 め：奈良県道路交通法施行細則第 1 1 条（署長の駐車許可）
審 査 基 準：別紙のとおり。
標 準 処 理 期 間：3 日。ただし、行政庁の休日は含まない。
申 請 先： 申請に係る道路の場所を管轄する警察署の交通課（係）窓口に提出してください。
問 い 合 わ せ 先：申請に係る道路の場所を管轄する警察署
備 考：

別紙

警察署長は、駐車許可の申請の内容が、次の1から4までのいずれにも該当するときは、許可をするものとする。

1 駐車する日時

次のいずれにも該当する日時であること。

- (1) 駐車（許可に条件を付す場合にあっては、当該条件に従った駐車。2（2）において同じ。）により交通に危険を生じ、又は交通を著しく阻害する時間帯でないこと。
- (2) 駐車に係る用務の目的を達成するために必要な時間を超えて駐車するものでないこと。

2 駐車する場所

次のいずれにも該当する場所であること。

- (1) 駐車禁止の規制のみが実施されている場所（無余地となる場所及び放置駐車となる場合にあっては法第45条第1項各号に掲げる場所を除く。）であること。
- (2) 駐車により交通に危険を生じ、又は交通を著しく阻害する場所でないこと。

3 駐車に係る用務

次のいずれにも該当する用務であること。

- (1) 公共交通機関等の当該車両以外の交通手段によったのでは、その目的を達成することが著しく困難と認められる用務であること。
- (2) 5分を超えない時間内の貨物の積卸しその他駐車違反とならない方法によることがおよそ不可能と認められる用務であること。
- (3) 道路交通法第77条（道路の使用の許可）第1項各号に規定する行為を伴う用務でないこと。

4 駐車可能な場所の有無

次に掲げる範囲内に、路外駐車場、路上駐車場及び駐車が禁止されていない道路の部分のいずれも存在せず、又はこれらの利用がおよそ不可能と認められること。

- (1) 重量又は長大な貨物の積卸しで用務先の直近に駐車する必要がある車両にあっては、当該用務先の直近
- (2) その他の車両にあっては、当該用務先からおおむね300メートル以内

審 査 基 準

平成 2 6 年 9 月 3 0 日作成

法 令 名：道路交通法
根 拠 条 項：第 4 9 条の 5
処 分 の 概 要：駐車の許可
原権者（委任先）：警察署長
法 令 の 定 め：奈良県道路交通法施行細則第 1 1 条（署長の駐車許可）
審 査 基 準：別紙のとおり。
標 準 処 理 期 間：3 日。ただし、行政庁の休日は含まない。
申 請 先： 申請に係る道路の場所を管轄する警察署の交通課（係）窓口に提出してください。
問 い 合 わ せ 先：申請に係る道路の場所を管轄する警察署
備 考：

別紙

警察署長は、駐車許可の申請の内容が、次の1から4までのいずれにも該当するときは、許可をするものとする。

1 駐車する日時

駐車に係る用務の目的を達成するために必要な時間を超えて駐車するものでないこと。

2 駐車場所及び方法

次のいずれにも該当すること。

- (1) 場所については、当該時間制限駐車区間を利用する他の車両を著しく妨害する場所でないこと。
- (2) 方法については、当該方法で駐車することにより、交通に危険を生じ、又は交通を著しく阻害することとならないこと。

3 駐車に係る用務

次のいずれにも該当する用務であること。

- (1) 公共交通機関等の当該車両以外の交通手段によったのでは、その目的を達成することが著しく困難と認められる用務であること。
- (2) 当該時間制限駐車区間において道路標識等により表示された時間以内の駐車その他駐車違反とならない方法によることがおよそ不可能と認められる用務であること。
- (3) 道路交通法第77条（道路の使用の許可）第1項各号に規定する行為を伴う用務でないこと。

4 駐車可能な場所の有無

次に掲げる範囲内に、路外駐車場、路上駐車場及び駐車が禁止されていない道路の部分のいずれも存在せず、又はこれらの利用がおよそ不可能と認められること。

- (1) 重量又は長大な貨物の積卸しで用務先の直近に駐車する必要がある車両にあっては、当該用務先の直近
- (2) その他の車両にあっては、当該用務先からおおむね300メートル以内

審 査 基 準

平成 2 6 年 9 月 3 0 日作成

法 令 名：道路交通法
根 拠 条 項：第 4 9 条の 7 第 2 項
処 分 の 概 要：駐車の許可
原権者（委任先）：警察署長
法 令 の 定 め：奈良県道路交通法施行細則第 1 1 条（署長の駐車許可）
審 査 基 準：別紙のとおり。
標 準 処 理 期 間：3 日。ただし、行政庁の休日は含まない。
申 請 先： 申請に係る道路の場所を管轄する警察署の交通課（係）窓口に提出してください。
問 い 合 わ せ 先：申請に係る道路の場所を管轄する警察署
備 考：

別紙

警察署長は、駐車許可の申請の内容が、次の1から4までのいずれにも該当するときは、許可をするものとする。

1 駐車する日時

駐車に係る用務の目的を達成するために必要な時間を超えて駐車するものでないこと。

2 駐車場所及び方法

次のいずれにも該当すること。

- (1) 場所については、当該時間制限駐車区間を利用する他の車両を著しく妨害する場所でないこと。
- (2) 方法については、当該方法で駐車することにより、交通に危険を生じ、又は交通を著しく阻害することとならないこと。

3 駐車に係る用務

次のいずれにも該当する用務であること。

- (1) 公共交通機関等の当該車両以外の交通手段によったのでは、その目的を達成することが著しく困難と認められる用務であること。
- (2) 当該時間制限駐車区間において道路標識等により表示された時間以内の駐車その他駐車違反とならない方法によることがおよそ不可能と認められる用務であること。
- (3) 道路交通法第77条（道路の使用の許可）第1項各号に規定する行為を伴う用務でないこと。

4 駐車可能な場所の有無

次に掲げる範囲内に、路外駐車場、路上駐車場及び駐車が禁止されていない道路の部分のいずれも存在せず、又はこれらの利用がおよそ不可能と認められること。

- (1) 重量又は長大な貨物の積卸しで用務先の直近に駐車する必要がある車両にあっては、当該用務先の直近
- (2) その他の車両にあっては、当該用務先からおおむね300メートル以内